

研究指導教員の決定と研究指導の方法
<博士後期課程（緑地環境科学専攻）>

(1) 研究指導教員の役割

- ① 研究指導教員は、学生の希望する研究課題、研究指導教員の専門分野、指導環境などを考慮し、学生の同意を得た上で研究課題を決定し、研究指導を行う。
- ② 研究指導教員は、研究指導に加え、学生の学修・研究に必要なとなる授業科目の履修について指導を行う。
- ③ 研究指導教員は学生ごとに1名（教授または准教授）を決定し、必要な場合は副研究指導教員（講師以上）を設ける。

(2) 副研究指導教員の役割

- ① 副研究指導教員は、研究指導教員と協力して学生の研究指導を行う。
- ② 副研究指導教員は、研究指導教員の指導についての学生からの相談に応じ調整を行う。
- ③ 副研究指導教員を設ける場合は、学生ごとに1名または2名とする。

(3) 研究指導教員の決定プロセス

- ① 出願者は、学生募集要項記載の教員一覧等を参考に、出願前に研究指導を希望する教員との面談等を行い、出願時に希望する研究指導教員（教授又は准教授）を選択する。
- ② 入学試験時の口頭試問において、出願者が研究指導を希望する教員と希望理由を確認する。
- ③ 入学後、入学試験時の口頭試問をもとに、研究指導体制を検討の上、専攻教授会において、研究指導教員を、併せて必要な場合は副研究指導教員を決定する。

(4) 研究指導の方法

本専攻における研究指導の方法は、以下の①～⑥のとおりである。研究指導教員は学生の研究指導を行うにあたり、この研究指導計画を明示し、毎年度の初めに、学生の1年間の研究計画についての打合せを学生と十分に行った上で、以下に沿って、研究指導を行うものとする。学生の研究指導計画の詳細は、学生の研究計画を確認した上で作成し、明示する。

① 研究計画の立案（1年次）

- (1) 学生は、決定した研究課題に関して先行研究を整理し、研究指導教員とともに研究計画を立案する。
- (2) 研究指導教員は、学生の研究計画立案に際し、研究方法、文献の検索や読解方法等を指導する。
- (3) 研究指導教員は、学生が記入し提出した研究指導計画書の研究計画に基づき、課程修了までの研究指導計画を1年ごとに記載し、学生と副研究指導教員に明示する。
- (4) 学生と研究指導教員は、協議のうえ「研究指導計画書」を作成し、研究科長へ提出する。

② 研究の遂行（1年次～3年次）

- (1) 学生は、研究計画に従って研究を遂行する。1年次では、主に予備的な実験や調査を行い研究方法の確立を図る。2, 3年次では、確立した研究方法によりデータ収集・解析等を進め、その成果を博士論文としてまとめる。
- (2) 研究指導教員は、研究の進行を随時確認し、実験・調査等の手法やデータ解析の指導等、研究の進捗状況に応じた指導を行う。

(3) 研究指導教員は、必要に応じて、研究指導計画の見直しを行い、毎年度の初め、研究指導計画を学生と副研究指導教員に明示する。

③ 論文投稿および学会発表（1年次～3年次）

(1) 学生は、研究成果について学術誌への論文投稿や学会での発表を行う。

(2) 研究指導教員は、投稿論文のまとめ方、学会発表の方法等について指導する。

④ 博士論文の作成（3年次）

(1) 学生は、研究成果をもとに博士論文の作成を開始し、研究指導教員のもとで博士論文をまとめる。

(2) 研究指導教員は、博士論文の構成や図表の作成、文献の整理・引用等、論文のまとめ方を指導する。

⑤ 博士論文の提出・発表（3年次）

学生は、博士論文を指定する期日までに提出し、公開の発表会で論文の内容を発表する。

⑥ 研究指導報告書の提出（3年次）

研究指導教員は、「研究指導報告書」を作成し、研究科長に提出する。